

## 忍野中伝統のキャリア教育『職業講話』

～自らの生き方を主体的に創る進路指導をめざして地域を学び・地域の人に学ぶ～

### 1. 目的と経緯

- ・啓発的体験学習のひとつとして地域を学び、保護者や地域の人から学ぶ機会とする。
- ・主体的に学び、自分の将来や職業について考えるきっかけとする。
- ・今年度で29回目を迎える伝統行事である。



### 2. 内容



- ・様々なジャンルの職業から15講座前後開設し、90分の講義や実習を行う。  
(今年度の開設講座は、警察官、美容師、医師、消防士、自衛官、パティシエ、アナウンサー、保育士、機械エンジニア、教員、住職、銀行員、研究員、食品業、スポーツクラブスタッフ)
- ・講師は、「地域に学び、地域の人に学ぶ」を基本にするため、村内在住者、村出身者、近隣市町村在住者を基準に選出する。(PTA役員が講師を選出し、依頼する)また、無償(ボランティア)でお願いする。

- ・全学年の生徒が参加し、自分の興味のある講座を選択し受講する。保護者の参観も可能。

### 3. 成果と課題

- ・生徒が自分の進路について考えるきっかけとなっている。
- ・働くことを自分の問題としてとらえ、考えられるようになった。
- ・講義だけでなく体験活動もあり、全員が興味を持って集中して学習できている。
- ・地域の方々と学校の交流の場になっている。
- ・講師の選定については、PTA役員にお願いしているが、職種の偏りや講師の方の人数など、難しさもある。
- ・生徒の選択肢を広げるために、できるだけ多くの講座が開設できるようにしたいところではあるが、担当する教員の数に限りがあるので難しい。

